

公営企業会計の決算状況

1 事業数

平成29年度において、地方公営企業を経営している団体数は11団体（市町村10、一部事務組合1）で前年度から増減はない。

また、事業数は56事業（法適用17事業、法非適用39事業）であり、前年度から枝幸町の観光事業が2事業（法非適用）減り、豊富町のガス事業が1事業（法適用）増えた。

※ 幌延町の病院については平成23年度に診療所化しており事業数には含まれていないが、地方債の償還が終了していないため、決算規模には計上している。

地方公営企業の経営団体数

区 分	平成29年度	平成28年度	増減
市 町 村	10	10	0
一 部 事 務 組 合	1	1	0

地方公営企業の事業数

事 業	平成29年度	平成28年度	増減	
上 水 道	2	2	0	
簡 易 水 道	9	9	0	
港 湾	5	5	0	
病 院	7	7	0	
下 水 道	公 共	3	3	0
	特 環	8	8	0
	農 集	2	2	0
	漁 集	3	3	0
	特 排	1	1	0
	個 別	3	3	0
	計	20	20	0
ガ ス	1	0	1	
市 場	1	1	0	
観 光	3	5	△ 2	
宅 地 造 成	2	2	0	
介 護 サ ー ビ ス	5	5	0	
そ の 他	1	1	0	
合 計	56	57	△ 1	

2 職員数

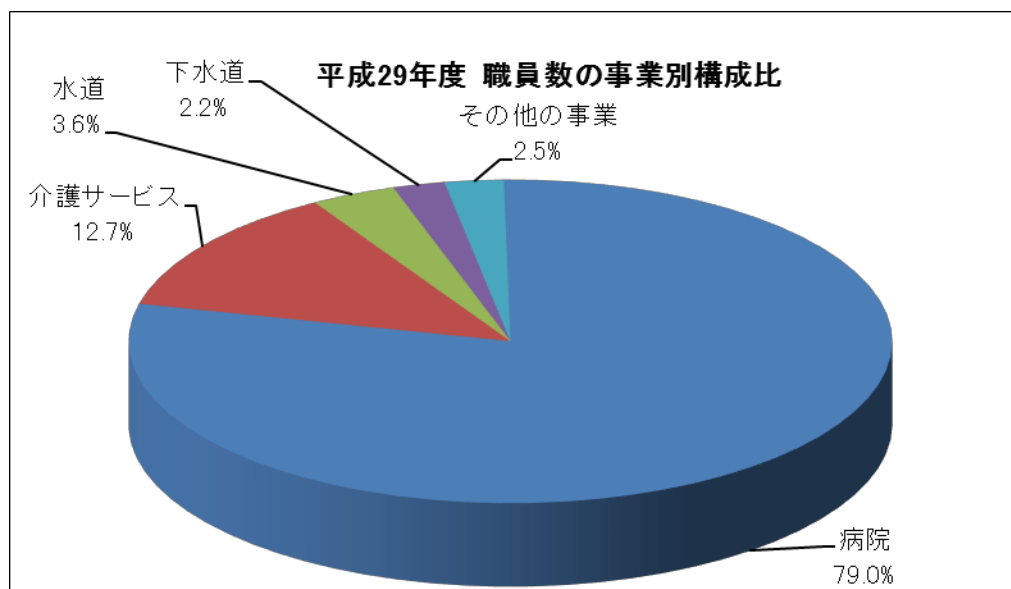
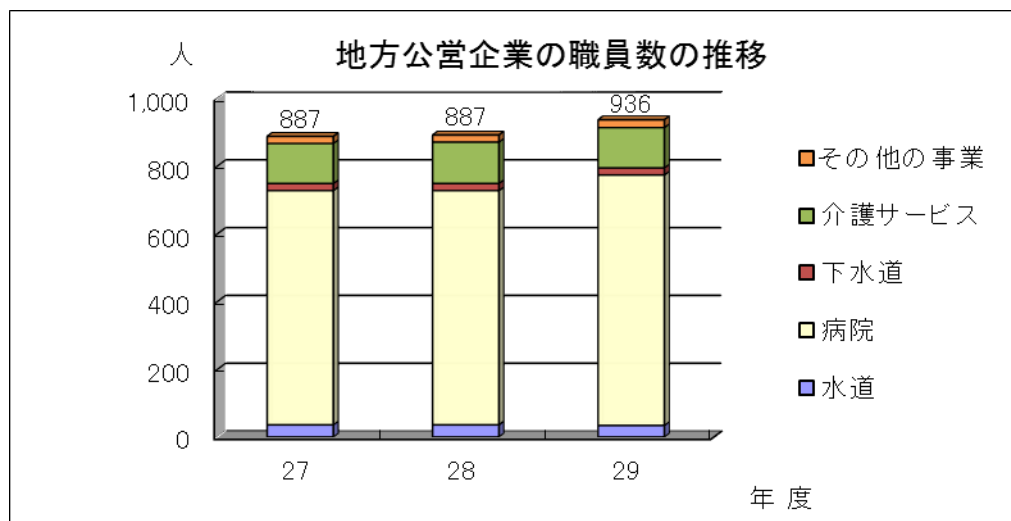
平成29年度末において、地方公営企業に従事する職員数は936人であり、前年度末に比べ45人増加している。

また、事業別の職員数は、病院事業が739人と最も多く全体の79.0%を占め、次いで介護サービス事業（119人、12.7%）、水道事業（34人、3.6%）、下水道事業（21人、2.2%）、その他の事業（23人、2.5%）となっている。

地方公営企業の職員数の状況

(単位:人、%)

事業	平成29年度		平成28年度		対前年度比	
	人数	構成比	人数	構成比	増減数	増減率
水道	34	3.6	36	4.0	△2	△5.6
病院	739	79.0	691	77.6	48	6.9
下水道	21	2.2	21	2.4	0	0.0
介護サービス	119	12.7	122	13.7	△3	△2.5
その他の事業	23	2.5	21	2.3	2	9.5
合計	936	100.0	891	100.0	45	5.1



3 決算規模

決算規模は294億8百万円で、前年度に比べ2億82百万円減少している。

事業別にみると、病院事業（199億16百万円、67.7%）が最も大きく、次いで下水道事業（47億47百万円、16.1%）、水道事業（31億25百万円、10.6%）、その他の事業（16億20百万円、5.6%）となっている。

地方公営企業の決算規模の状況

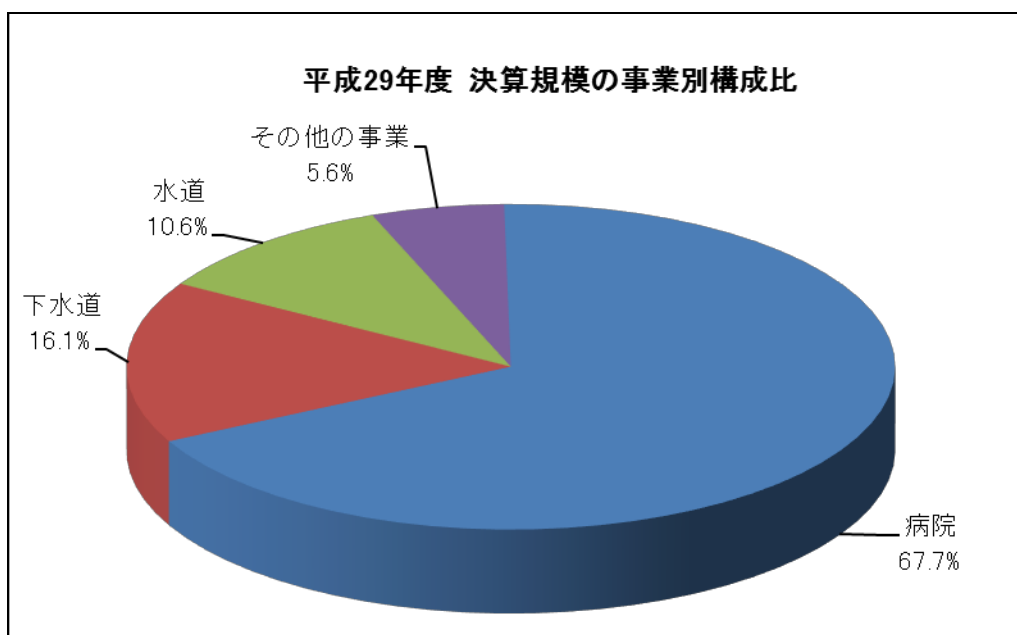
（単位：百万円、%）

事業	平成29年度		平成28年度		対前年度比	
		構成比		構成比		増減率
水道	3,125	10.6	3,132	10.5	△7	△0.2
病院	19,916	67.7	19,778	66.6	138	0.7
下水道	4,747	16.1	4,730	15.9	17	0.4
その他の事業	1,620	5.6	2,049	7.0	△429	△20.9
合計	29,408	100.0	29,690	100.0	△282	△0.9

（注）・水道は上水道事業と簡易水道事業を合計したものである。

・病院事業には幌延町を含む。

・各項目において、端数処理を行っているため、合計と内訳は一致しないことがある。

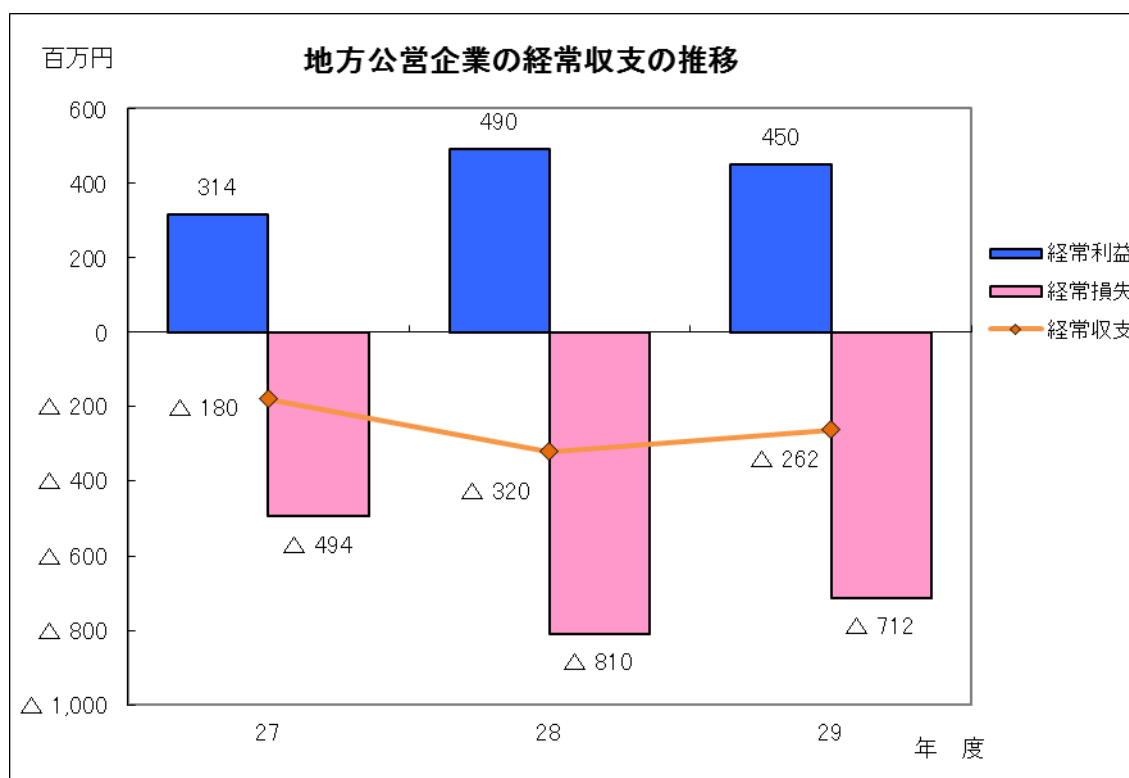
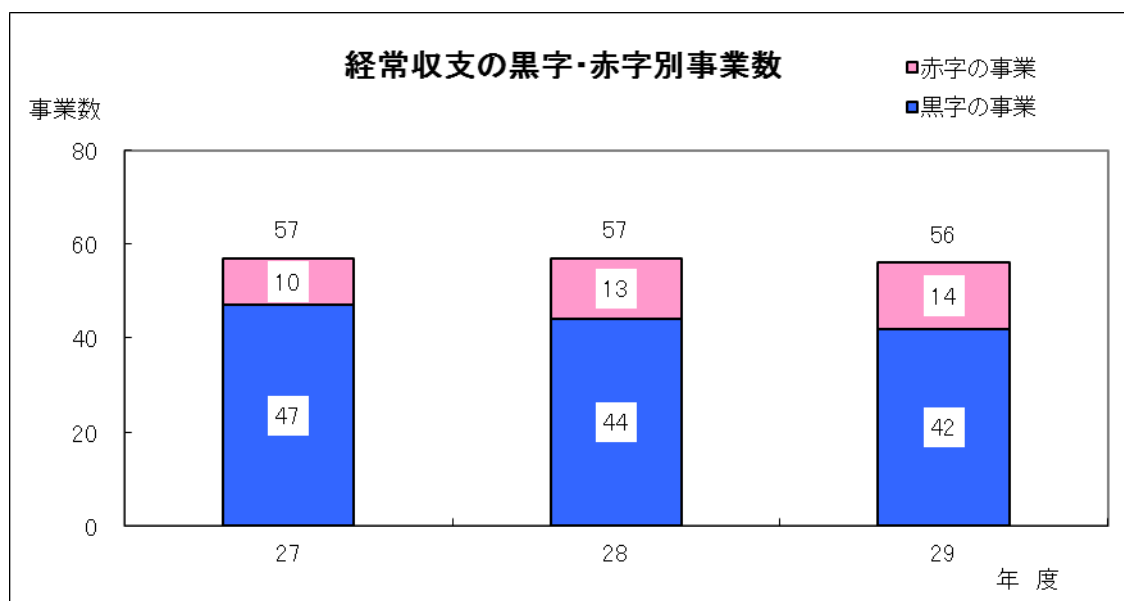


4 経営状況

経常収支が黒字の事業は42事業で、前年度に比べ2事業減少し、赤字の事業は14事業で、前年度に比べ1事業増加している。

全事業を合計した経常収支は、2億62百万円の赤字となっており、赤字額は前年度に比べ、58百万円減少している。

主な事業の経常収支は、上水道・簡易水道事業が2億28百万円の黒字、病院事業は6億9百万円の赤字、下水道事業が99百万円の黒字となっている。



5 建設投資額

建設投資額は30億46百万円で、前年度に比べ75百万円、2.5%増加している。

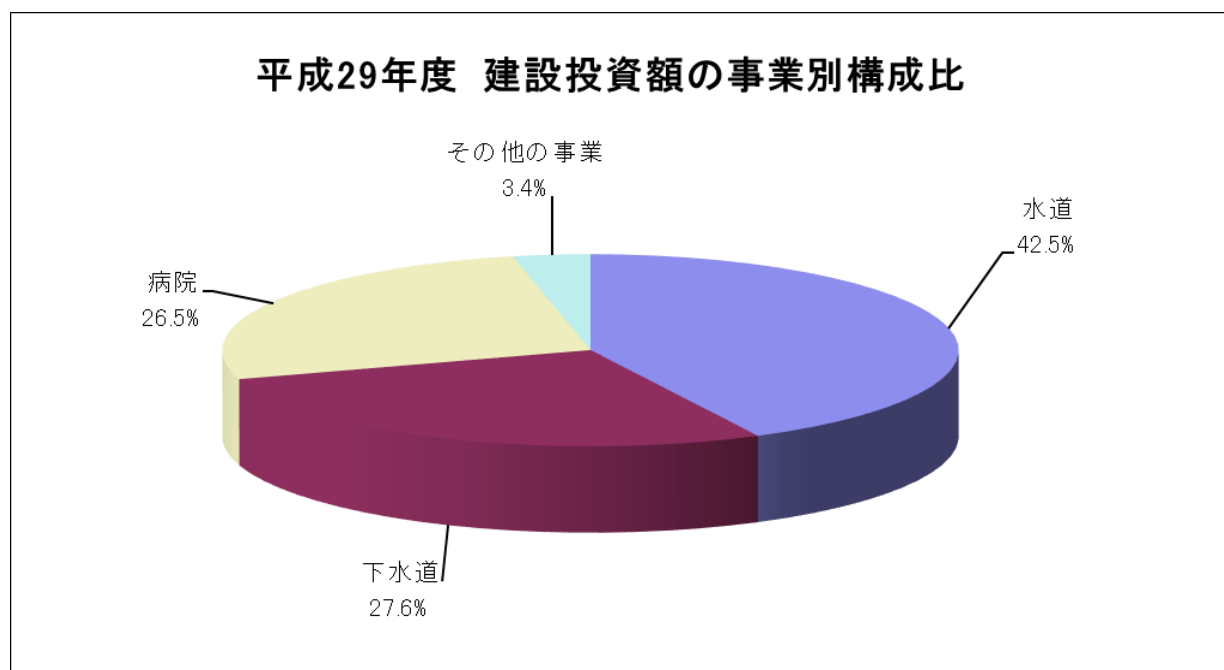
地方公営企業の建設投資額の状況

(単位:百万円、%)

事業	平成29年度		平成28年度		対前年度比	
		構成比		構成比		増減率
水道	1,294	42.5	1,212	40.8	82	6.8
病院	808	26.5	833	28.0	△ 25	△ 3.0
下水道	840	27.6	820	27.6	20	2.4
その他の事業	104	3.4	106	3.6	△ 2	△ 1.9
合計	3,046	100.0	2,971	100.0	75	2.5

(注)水道は上水道事業と簡易水道事業を合計したものである。

(注)各項目において、端数処理を行っているため、合計と内訳は一致しないことがある。



6 繰入金

他会計からの繰入金は70億32百万円で、前年度に比べ3億37百万円、4.8%減少している。このうち国が示している繰出基準を超える繰入金は、16億92百万円で、前年度に比べ2億6百万円、10.9%減少している。

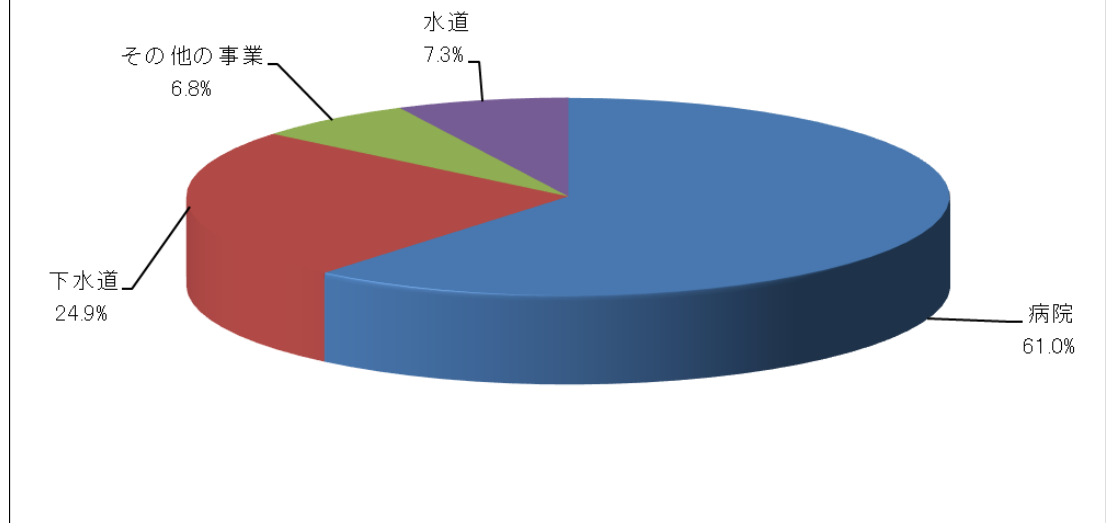
繰入金の状況

(単位:百万円、%)

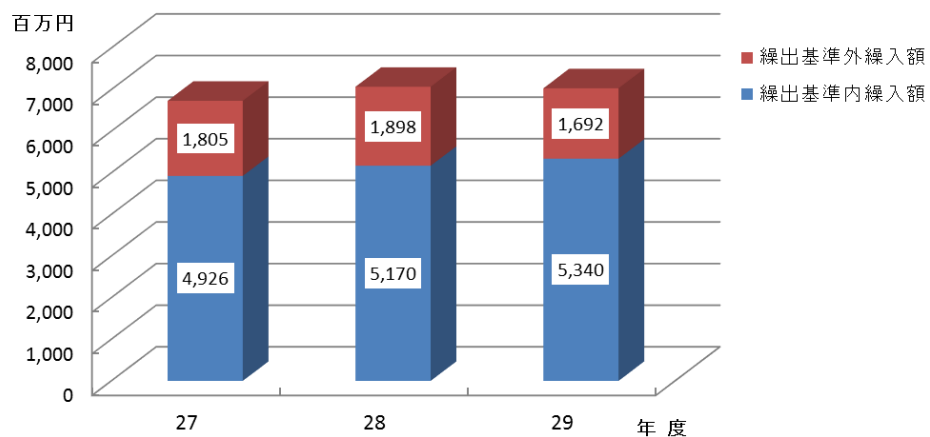
事業	平成29年度				平成28年度				対前年度比					
	基準内	基準外	繰入金計		基準内	基準外	繰入金計		基準内		基準外		繰入金計	
			構成比	増減率			増減率	増減率	増減率					
水道	233	247	480	6.8	241	246	488	6.9	△9	△3.7	1	0.4	△8	△1.6
病院	4,035	257	4,292	61.0	3,933	251	4,184	59.2	101	2.6	6	2.4	107	2.6
下水道	1,038	715	1,752	24.9	967	844	1,811	25.6	71	7.3	△129	△15.3	△58	△3.2
その他の事業	35	473	508	7.3	28	557	585	8.3	7	25.0	△83	△14.9	△77	△13.2
合計	5,340	1,692	7,032	100.0	5,170	1,898	7,068	100.0	170	3.3	△206	△10.9	337	4.8

(注)・水道は上水道事業と簡易水道事業を合計したものである。
 ・各項目において端数処理をしているため、合計と内訳が一致しないことがある。
 ・その他の事業のうち、観光・宅地造成・介護サービス・その他の事業(計11事業)については繰出基準がないため、繰入は全て基準外である。

平成29年度 繰入金の事業別構成比



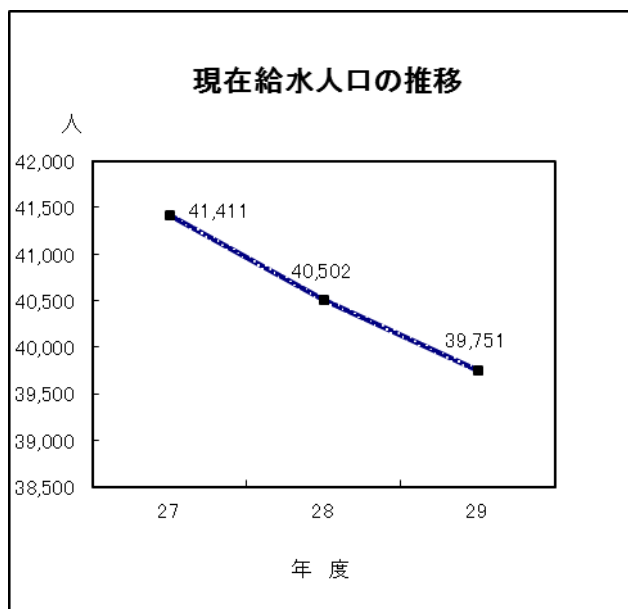
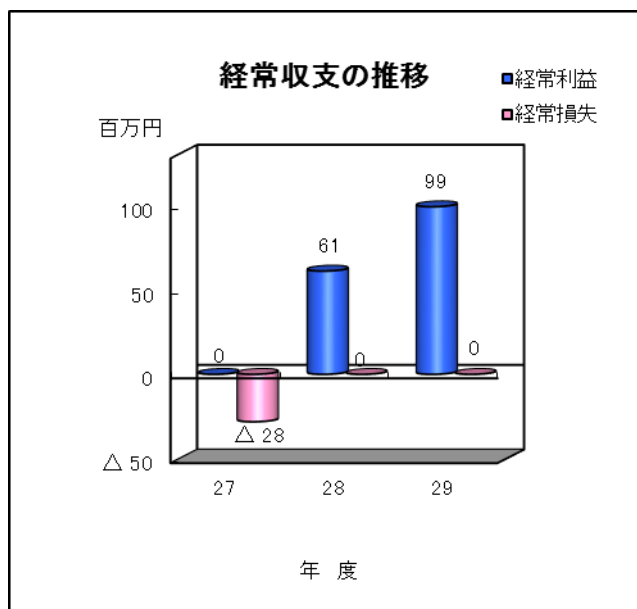
基準内繰入金・基準外繰入金の推移



7 主な事業別の経営状況

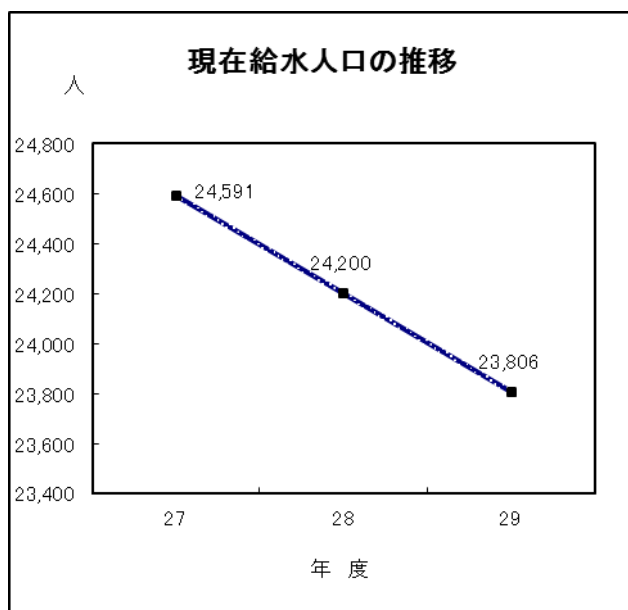
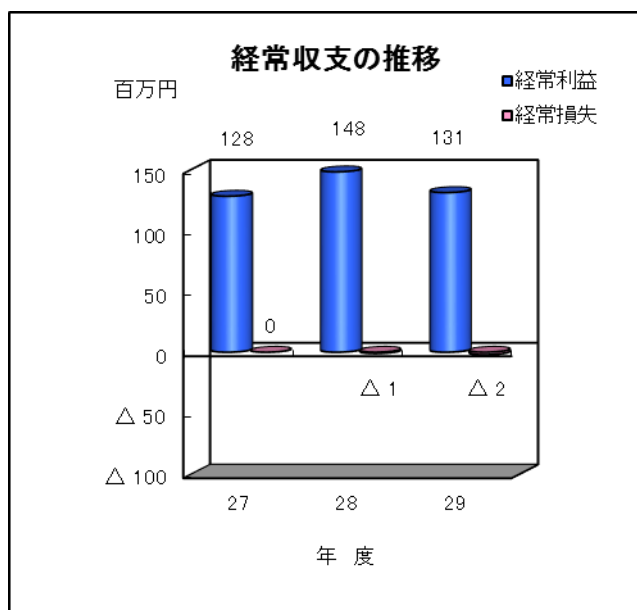
(1) 上水道事業（2事業）

- 経常収支の黒字事業は2事業で、経常利益は99百万円である。
- 給水人口は39,751人で、前年度に比べ751人減少している。



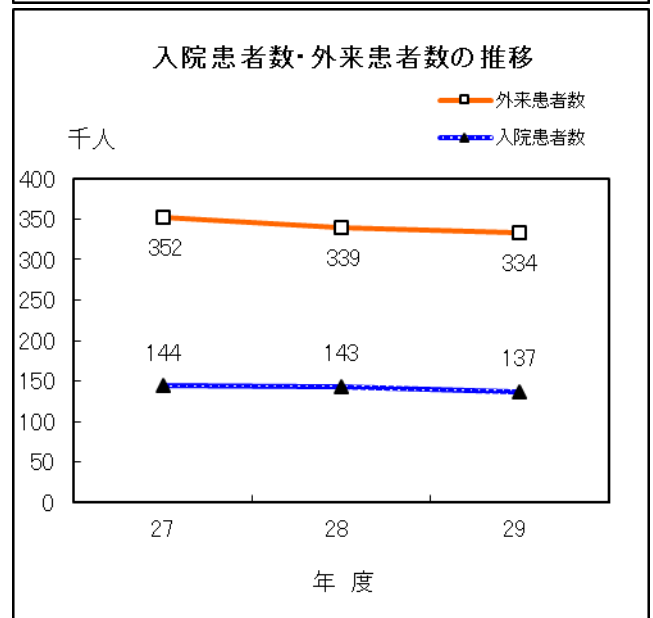
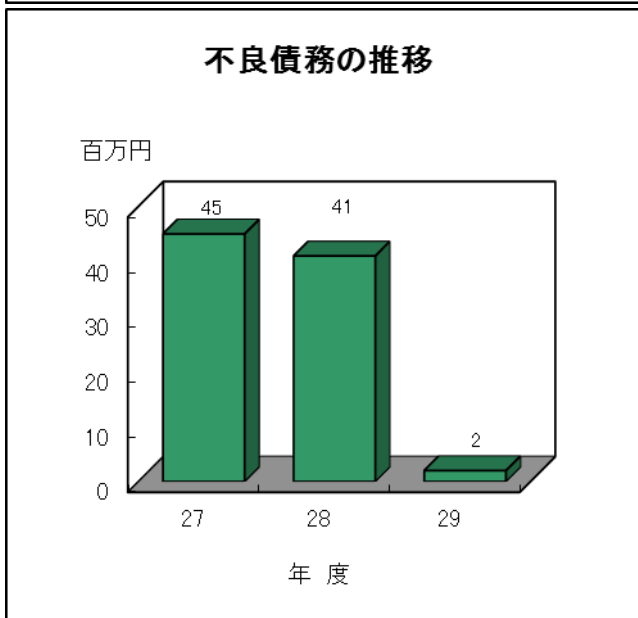
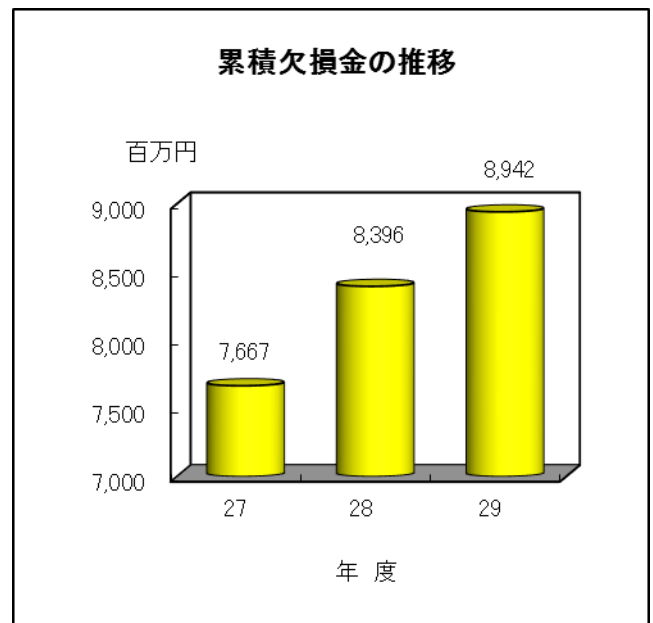
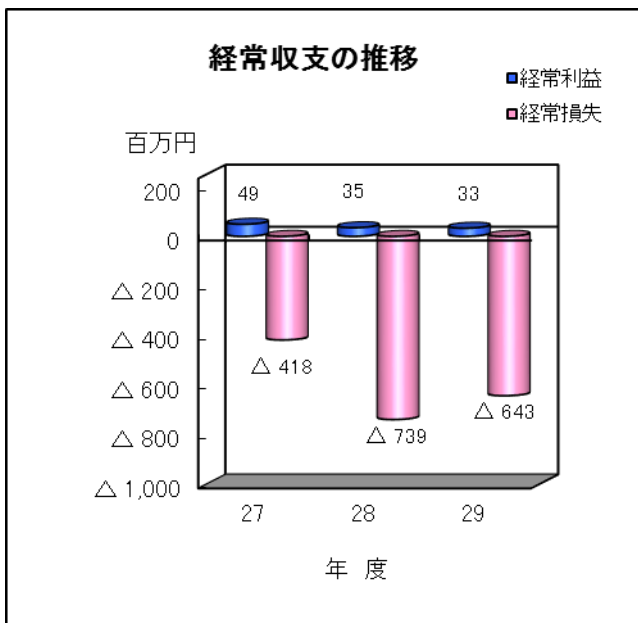
(2) 簡易水道事業（9事業）

- 経常収支の黒字事業は前年度と同様の8事業であり、経常利益は1億31百万円で、前年度に比べ17百万円減少している。
- 経常収支の赤字事業は前年度と同様の1事業であり、経常損失は2百万円である。
- 給水人口は23,806人で、前年度に比べ394人減少している。



(3) 病院事業（7事業）

- 経常収支の黒字事業は前年度と同様の5事業であり、経常利益は33百万円で、前年度に比べ2百万円減少している。
- 経常収支の赤字事業は前年度と同様の2事業であり、経常損失は6億43百万円で、前年度に比べ96百万円減少している。
- 累積欠損金は89億42百万円で、前年度に比べ5億46百万円増加している。
- 不良債務は2百万円で、前年度に比べ39百万円減少している。
- 患者数は471千人（入院137千人、外来334千人）で、前年度に比べ11千人減少している。



(4) 下水道事業（20事業）

- 経常収支の黒字事業は前年度と同様の17事業であり、経常利益は1億62百万円で、前年度に比べ49百万円増加している。
- 経常収支の赤字事業は前年度と同様の3事業であり、経常損失は63百万円で、前年度に比べ6百万円増加している。
- 下水道普及率は前年度と同様の89.9%となっている。

